

## 2021 年度 外国語教育研究所活動報告

4月28日(水)	第1回(通算第72回) 研究所連絡会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2021年度研究所活動計画について</li> <li>・2021年度研究員活動計画について</li> <li>・第11回公開講演会について</li> <li>・研究員の役割分担について</li> <li>・HP更新について</li> <li>・その他</li> </ul>
5月26日(水)	第2回(通算第73回) 研究所連絡会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年度収支について</li> <li>・2021年度予算について</li> <li>・第11回公開講演会について</li> <li>・研究所紀要作成について</li> <li>・その他</li> </ul>
6月25日(金)	第11回公開講演会 ※Zoomウェビナーにて オンライン開催	<p>学びをデザインする—高大連携と外国語教育のこれから— 挨拶 外国語教育研究所長 浅岡 千利世</p> <p>1. 基調講演 &lt;講演者&gt; 森 朋子(桐蔭横浜大学副学長・教育研究開発機構教授)</p> <p>2. 質疑応答 &lt;モデレーター&gt; 三谷 裕美(外国語教育研究所主任研究員)</p>
6月30日(水)	第3回(通算第74回) 研究所連絡会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第11回公開講演会について(報告)</li> <li>・研究所紀要作成について</li> <li>・2020年度事業報告書作成について</li> <li>・その他</li> </ul>
7月28日(水)	第4回(通算第75回) 研究所連絡会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年度事業報告書作成について</li> <li>・その他</li> </ul>
10月27日(水)	第5回(通算第76回) 研究所連絡会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究所紀要作成について</li> <li>・その他</li> </ul>
	第1回(通算第29回) 研究例会	<p>学習者と共に創る授業: アクティブラーニングの観点から &lt;発表者&gt; 辻田 麻里(外国語教育研究所客員研究員)</p>
11月24日(水)	第6回(通算第77回) 研究所連絡会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第11回高大懇話会について</li> <li>・研究所紀要作成について</li> <li>・その他</li> </ul>
11月30日(火)	事業報告書の発行	「獨協大学外国語教育研究所2020年度事業報告書」(Annual Report of the Institute for Research in Foreign Language Teaching Dokkyo University)
1月26日(水)	第7回(通算第78回) 研究所連絡会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第11回高大懇話会について</li> <li>・紀要作成について</li> <li>・第12回公開講演会について</li> <li>・その他</li> </ul>
	第2回(通算第30回) 研究例会	<p>文法と日本語教育 &lt;発表者&gt; 浅山 佳郎(外国語教育研究所研究員)</p>

2月19日(土)	第11回高等学校外国語 担当教員との懇話会	<高等学校外国語担当教員> 岩田 紀子 (獨協埼玉中学高等学校) 岡見 英一 (獨協中学高等学校) 柿岡 俊一 (東邦大学 / 武南高等学校) 鈴木 冴子 (埼玉県立伊奈学園総合高等学校) 高石 美穂 (東京都立六本木高等学校) 成瀬 博文 (獨協埼玉中学高等学校) 能登 慶和 (獨協医科大学 / 東京都立北園高等学校) 松田 雪絵 (埼玉県立伊奈学園総合高等学校) 山崎 夏絵 (埼玉県立越谷南高等学校) [※五十音順] <外国語教育研究所研究員> 浅岡 千利世 (所長) 三谷 裕美 (主任研究員) 浅山 佳郎 岡田 圭子 柿沼 義孝 Marco RAINDL 渡邊 一弘 市原 ひかり 辻田 麻里 (客員研究員)
3月31日(木)	紀要の発行	『獨協大学外国語教育研究所紀要』第10号 (10周年記念号) (Dokkyo Journal of Language Learning and Teaching, Vol. 10)

## 外国語教育研究所研究員一覧

氏名	所属 / 職位
研究課題	
浅岡 千利世	所長 / 外国語学部英語学科 / 教授
Narratives of successful language teachers: Through forming a collaborative community of practice of language teachers	
三谷 裕美	主任研究員 / 法学部法律学科 / 准教授
外国語学習における小・中・高・大学連携と学習者ニーズ分析	
柿沼 義孝	外国語学部ドイツ語学科 / 教授
1. 外国語学習における中・高・大学連携と自律学習 2. ドイツ語の言語運用能力に関する指導と評価について	
浅山 佳郎	国際教養学部言語文化学科 / 教授
少数言語コミュニティにおける外国語教育として日本語教育	
岡田 圭子	経済学部経済学科 / 教授
外国語学習における連携と協働	
Marco RAINDL	外国語学部ドイツ語学科 / 准教授
Looking for (inter-)action – How do Japanese learners of German make use of tandem apps such as Hello Talk and Tandem for improving their communicative competencies in the target language	
渡邊 一弘	法学部総合政策学科 / 特任助教
TOKを活用した「思考する」英語ライティング授業の開発と高大連携	
辻田 麻里	客員研究員 / 国際基督教大学アーツ・サイエンス学科 / 准教授
中等教育における第二言語学習者の動機づけ：日本とスイスの比較考察	
市原 ひかり	外国語学部英語学科 / 特任助手
外国語教育におけるホリスティックアプローチ	

計9名

# 獨協大学外国語教育研究所紀要

## 投稿規程

### 1. 投稿資格

原則として、獨協大学外国語教育研究所に所属する研究員、または本学の専任教員とする。それ以外からの投稿については編集委員会および外国語教育研究所連絡会で審議する。

### 2. 投稿条件

投稿論文は言語教育に関するものとし、未発表のものに限る。

### 3. 投稿論文の種類

投稿論文には以下の種類があり、提出時に申し出ることとする。

- (1) 論文
- (2) 実践報告：具体的な教育活動に重点を置いた報告。
- (3) 研究ノート：特定のテーマへの萌芽的な取り組み、関心領域についてまとめたもの。

### 4. 使用言語

執筆言語は日本語、英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、韓国語、中国語とする。

### 5. ガイドライン

以下のガイドラインに沿っていない投稿は、査読の対象としないので注意されたい。**論文投稿用テンプレートを必ず使用すること。**

- (1) 執筆にはマイクロソフト・ワードを使用し、A4版の横書きとする。
- (2) 原稿の余白は上端 20mm、下端 24mm、左右各 23mm ずつあける。注は通し番号を付けて、脚注に設定する。ヘッダー・フッター、ページ数番号は設定しない。
- (3) 原稿はアブストラクト、出典、図表、付録など全てを含めて 20 ページ以内とする。
- (4) 本文が日本語の場合には「4. 使用言語」で規定されている外国語（200 語程度）、本文が日本語以外の言語の場合は日本語（400 字程度）で、アブストラクトを執筆する。
- (5) 以下のフォントのガイドラインに従う。

	和文	欧文
フォント	MS 明朝	Century
フォントサイズ (本文・アブストラクト)	11 ポイント	11 ポイント
フォントサイズ (タイトル)	16 ポイント	16 ポイント
フォントサイズ (サブタイトル・著者名)	12 ポイント	12 ポイント
フォントサイズと書式 (見出し)	12 ポイント + ボールド	12 ポイント + ボールド
フォントサイズ (小見出し)	11 ポイント + ボールド	11 ポイント + ボールド
フォントサイズ (脚注)	9 ポイント	9 ポイント
原稿レイアウト	42 字×33 行	33 行

## 6. 採録の決定および通知

掲載論文の採否は編集委員会が所管し、査読を経て決定する。

## 7. 原稿提出締切り

2022年9月30日（金）

投稿予定の方は8月7日までに研究所に、メールでその旨をお知らせください。

## 8. 原稿送付先

下記のアドレスにメール添付にて提出してください。論文の本文が日本語の場合には「4. 使用言語」で規定されている外国語のタイトルを、本文が日本語以外の言語の場合は日本語のタイトルをメールでお送りください。また、同時に、原稿を投稿した旨を別メールにてお知らせください。予期せぬ通信事故を防ぐために、ご協力ください。

E-Mail: amanoken\_kiyou@ml.dokkyo.ac.jp

## 9. 獨協大学学術リポジトリ

本紀要に掲載された論文等は、獨協大学学術リポジトリへの登録および論文のオンライン公開を行う。ただし、執筆者が複製権および公衆送信権を許諾する場合に限る。

## 10. その他

- (A) 紀要は原則として毎年1回3月に発行する。
- (B) 本誌に投稿される論文（紙媒体、オンラインともに）の著作権に関する規程は別に定める。
- (C) 抜刷りは30部までを著者に贈呈するが、それ以上の印刷は自己負担とする。

獨協大学外国語教育研究所  
編集委員会

### 投稿先：獨協大学外国語教育研究所 編集委員会

〒340-0042 埼玉県草加市学園町1-1 獨協大学天野貞祐記念館4階

TEL：048-946-1846 / FAX：048-946-1846

E-Mail: amanoken\_kiyou@ml.dokkyo.ac.jp

# Dokkyo Journal of Language Learning and Teaching

## Submission Guidelines

### 1. Requirements for submission

In principle, contributors should be research fellows at the Dokkyo University Institute for Research in Foreign Language Teaching (AMANO-ken for short), or full-time teaching staff at Dokkyo University. Other manuscripts will be considered by the editorial board and by the Institute's committee.

### 2. Requirements for manuscripts

Manuscripts must be related to language education, and must not have been previously published.

### 3. Types of submissions

Manuscripts may be of the following three types (to be noted at the time of submission)

- (1) Research paper
- (2) Practical teaching ideas: Reports focusing on specific classroom activities
- (3) Research notes: Exploratory work on specific themes or summaries of areas of interest

### 4. Languages for submissions

Submissions may be written in Japanese, English, German, French, Spanish, Korean, or Chinese.

### 5. Guidelines

Manuscripts which do not follow these guidelines will not be considered for review.

#### Authors must use the template for submission.

- (1) Submissions should be written using Microsoft Word, set for A4-size paper, using horizontal script (left to right).
- (2) The margins of the manuscript should be as follows: top – 20 mm, bottom – 24 mm, left and right sides – 23 mm. All footnotes should be sequentially numbered and placed at the bottom of the corresponding page. Headers, footers, and page numbers should not be used.
- (3) Manuscripts should not exceed 20 pages (including abstract, references, figures, tables, and appendixes).
- (4) Japanese manuscripts should include an abstract (approx. 200 words) written in one of the languages listed above in #4 Languages for submissions. Manuscripts in languages other than Japanese should include an abstract (approx. 400 characters) in Japanese.
- (5) Follow the font size requirements

	Japanese	European Languages
Font	MS 明朝	Century
Font size (body)	11 point	11 point
Font size (Title)	16 point	16 point
Font size (Subtitle · Author name(s))	12 point	12 point

Font size and format (headings)	12 point bold	12 point bold
Font size (subheadings)	11 point bold	11 point bold
Font size (footnotes)	9 point	9 point
Manuscript layout	42 字 × 33 行	33 lines

## 6. Review of manuscripts

Submissions will go through a review process, and acceptance or rejection will be decided by the editorial committee.

## 7. Deadline for submissions

Friday, September 30, 2022

It is highly appreciated if you notify the Institute of your intention of submission by August 7, 2022, through e-mail.

## 8. Address for submissions

Send your article in an e-mail attachment to the following address. If your manuscript is written in Japanese, send the title written in one of the languages listed above in #4 Languages for submissions. If your manuscript is written in languages other than Japanese, send the Japanese version of your title.

You are also asked to send an e-mail message to notify the editorial committee that you have submitted your article. This is to avoid any unexpected problems.

E-Mail Address: amanoken\_kiyou@ml.dokkyo.ac.jp

## 9. Dokkyo University Academic Repository

The published article will be archived in the Dokkyo Academic Repository and will be made available to the public online if the author grants the right of reproduction and the right of public transmission.

## 10. Miscellaneous

- (A) The journal will be published annually in March, as a rule.
- (B) Details concerning the copyright of manuscripts published in the journal (both in paper and online) will be stipulated separately.
- (C) Authors will be given 30 offprints of their articles. Additional offprints can be provided at the author's expense.

Dokkyo University Institute for Research in Foreign Language Teaching  
Editorial Committee

**Address: Dokkyo University Institute for Research in Foreign Language Teaching**

Amano Memorial Hall 4 F  
1-1 Gakuen-cho, Soka-shi, Saitama-ken 340-0042  
TEL: 048-946-1846 / FAX: 048-946-1846  
E-Mail: amanoken\_kiyou@ml.dokkyo.ac.jp





## 編集後記

新たな変異株が出現するなど依然として研究と教育の場も新型コロナウイルス感染症の影響を受けるなか、このたび「獨協大学外国語教育研究所（通称：AMANO 外国語研究所）紀要（第10号）」が発行の運びとなりました。本紀要は第1号より学外の研究者に査読をお願いしておりますが、本号で査読の担当をお引き受けくださいました先生方は、ご多忙のなか丁寧に論文をお読みくださり、論文の質を向上させるために有益なコメントをお寄せくださいました。研究員一同、ご尽力に衷心より感謝申し上げます。

混沌とした社会状況を反映してか投稿数が少なかった前号とは異なり、本号には様々な言語・学術分野を専門とする研究者から多くの投稿をいただきました。研究と教育でお忙しいなか、貴重な時間を割いて本紀要のために論文・研究ノート・実践報告を投稿していただきました方々に心よりお礼を申し上げます。今後もさまざまな言語の教育についての研究発表の場として、さらに充実した紀要を目指してまいりたいと存じますので、皆様のご意見・ご感想をお寄せいただければ幸いに存じます。

今年度、外国語教育研究所は6月に公開講演会、2月の高等学校外国語担当教員との懇話会、10月と1月に研究例会を、全てオンラインで開催いたしました。いずれの催しにおいても多数の方々にご参加いただき、外国語教育の発展を目指して活発な議論が行われました。

2020年度以降、感染症の流行の影響で、外国語教育の分野でも教材、教授法、成果の評価方法など、新たな可能性を模索する状況が続いています。本研究所では、小・中・高等学校を含めた教育の現場や学内外の研究センターとの「連携」と「複言語」という2本の柱を中心に研究を継続していくと同時に、未来に向けて外国語教育の最新理論と実践に注目し、今後も有意義な行事を企画・運営してまいります。

紀要編集にあたり、査読委員の先生方、編集委員会の先生方、教育研究推進課のスタッフの皆様、そして何より、実務を一手に引き受けてくださった市原ひかり特任助手にあらためましてお礼を申し上げます。

2022年2月

外国語教育研究所主任研究員  
三 谷 裕 美

# 獨協大学外国語教育研究所規程

平成 23 年 4 月 1 日 施行

第 1 条 獨協大学（以下「本学」という。）本学に獨協大学外国語教育研究所（以下「本研究所」という。）を設ける。

第 2 条 本研究所は、外国語及び外国語としての日本語（以下「外国語」という。）教育に関する調査及び研究を行い、本学及び社会の発展に寄与することを目的とする。

第 3 条 本研究所は、前条の目的を達成するため、次の事業を行なう。

- (1) 外国語教育に関する資料収集、調査及び研究
- (2) 外国語の教授法の研究及び開発
- (3) 外国語の教材の開発及び出版
- (4) 外国語能力の評価基準に関する研究
- (5) 大学における二言語併用教育の方法及び成果に関する研究
- (6) 外国語教育の成果に関する追跡調査
- (7) 他の教育機関及び研究機関との交流、連携及び共同研究
- (8) 受託研究及び受託調査の実施
- (9) 研究及び調査の成果の発表及び刊行
- (10) 研究会、講演会その他シンポジウムの開催
- (11) その他本研究所の目的達成に必要な事業

第 4 条 本研究所に所長をおき、本学の専任教員をもってあてる。

- 2 所長は学長が任命する。
- 3 所長は、本研究所の業務を統括する。
- 4 所長の任期は 2 年とし、再任を妨げない。

第 5 条 本研究所に研究員若干名をおく。

- 2 研究員は本学専任教員の中から所長が指名する。
- 3 研究員の任期は 2 年とし、再任を妨げない。
- 4 研究員に関する内規は、別に定める。

第 6 条 本研究所に主任研究員をおき、研究員の中から所長がこれを指名する。

- 2 主任研究員は、本研究所の運営に関して所長を補佐する。

第 7 条 本研究所に客員研究員をおくことができる。

- 2 客員研究員に関する内規は、別に定める。

第 8 条 所長は本研究所の運営に関する事項を審議するため研究所連絡会をおく。

- 2 研究所連絡会は、所長、主任研究員及びその他の研究員をもって構成する。

第 9 条 所長は、当該年度の事業の状況並びに予算及び事業計画について年度ごとに部局長会に

報告しなければならない。

第10条 本研究所に事務職員をおく。

第11条 この規程の改廃は、全学教授会の審議を経て学長が行う。

附 則（平成 22 年規程第 33 号）

1 この規程は、平成 23 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日までの間、施行する。

附 則（平成 26 年規程第 14-116 号）

2 この規程は、平成 27 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日までの間、施行する。

附 則（平成 29 年規程第 1 号）

3 この規程は、平成 29 年 4 月 1 日から平成 35 年 3 月 31 日までの間、施行する。

## 紀要査読者一覧

獨協大学外国語教育研究所から査読を依頼している先生方のお名前は以下のとおりです。ここに記して御礼申し上げます。

石 塚 美 佳	東京工科大学
白 田 悦 之	函館工業高等専門学校
嶋 林 昭 治	龍谷大学
宗 宮 好 和	千葉大学
竹野谷 みゆき	東洋大学
名畑目 真 吾	筑波大学
早 川 杏 子	一橋大学
原 田 早 苗	上智大学
藤 井 彰 子	国際基督教大学
細 田 雅 也	北海道教育大学
松 井 健 吾	神田外国語大学
森 好 紳	白鷗大学
渡 辺 敦 子	文教大学
HARTING, Axel	広島大学
LIPSKY, Angela	上智大学
SELWOOD, James	広島大学

(敬称略)

## 執筆者一覧

浅岡 千利世	研究員・外国語学部英語学科教授
浅山 佳郎	研究員・国際教養学部言語文化学科教授
BHATTA Baikuntha	法学部国際関係法学科特任助教
市原 ひかり	研究員・外国語学部英語学科特任助手
木村 佐千子	外国語学部ドイツ語学科教授
渡邊 一弘	研究員・法学部総合政策学科特任助教
若林 玲奈	外国語学部フランス語学科准教授
RACINE John	法学部国際関係法学科教授
CRAWFORD Michael	外国語学部ドイツ語学科教授
三谷 裕美	研究員・法学部法律学科准教授
田口 雅徳	国際教養学部言語文化学科教授

(掲載順)

### 獨協大学外国語教育研究所紀要 2021年 第10号 (10周年記念号)

---

発行日 2022年3月31日

発行者 獨協大学外国語教育研究所 (通称: AMANO 外国語研究所)

〒340-0042 埼玉県草加市学園町1-1

TEL 048-946-1846 / FAX 048-946-1846

<https://www.dokkyo.ac.jp/amanoken/>

印刷 株式会社 外為印刷

<https://www.gaitame.co.jp>

---